

自己評価票

特定非営利活動法人

事業所名 グループホーム よおぎ 西町ユニット

評価機関名 近畿マネジメント・サポート・センター

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 1.誰もが自分らしい生き方を 2.命と人権を尊重する介護 3.安全・安心の質の高い介護 4.介護を受ける権利を守り発展させる運動 | | |
| 2 | 2 | ○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している | 自治会や地域の組合員に支えられており1年を通じて多数の行事や活動に参加し交流を深めている | | |
| 3 | | ○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 法人として又職員個人としては組合員とともに取り組んでいるが事業者全体としてはあまり取り組めていない。地域の人から個別に相談のある場合はその都度応じている | / | / |
| 4 | 3 | ○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 毎回の取り組みの報告を行い、参加者から率直な意見や要望を伺いサービスの向上につなげていくようにしている | | |
| 5 | 4 | ○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 八尾市高齢介護プロジェクトチームと連絡を取り、サービスの向上に取り組んでいる | | |
| 6 | 5 | ○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないケアについてはスタッフ一同周知しある程度理解はできていると思うが、エレベーターや階段などの施錠は行なっている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | ○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 言葉掛けや態度等、威圧的にならないように心掛けている | | |
| | | ○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 自立支援事業や成年後見制度について今は対象者がいないので学ぶ機会を持っていないが今後必要となることもあると思うので学習していきたい | | |
| 9 | | ○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 利用者や家族が納得されるまで説明している。また質問しやすい雰囲気作りを心掛けている | | |
| | | ○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会で意見や来訪時に対話して聞いたことは職場会議で報告検討している | | |
| 11 | 7 | ○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、すれらを反映させている | 職場会議の中で直接意見を聞いたり、事前に意見を聞き会議の議題にして出来るだけ反映できるようにしている | | |
| | | ○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている | シフト作成時には出来るだけ個人の希望を聞き入れ働きやすい職場作りを心掛けている | | |
| 13 | | ○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人内外での研修に参加できるよう、それぞれに声をかけ職場内に掲示している。定期的に面接時に力量チェックシートで自己を振り返り指導できる機会を持つようになっている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14 | | <p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | 法人内の施設間では交流する機会を持っているが他の同業者とは一部の事業所を除いてはあまり交流できていないので地域包括支援センターへも働きかけて交流できるような体制作りを整備していきたい | | |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | 入所初期は不安も多いため傾聴やコミュニケーションを取ることによって信頼関係を深めている | | |
| 16 | | <p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | 利用者同様、家族も不安が多いので気軽に訪問でき話しやすい雰囲気になるよう環境作りに努力している | | |
| 17 | | <p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | 利用者が必要としている支援を見極め自立支援できる体制を作っている | | |
| 18 | | <p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | 利用者は家族の一員であり家事、趣味など職員と一緒に考え楽しみながら共に生活しているよう援助している | | |
| 19 | | <p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | 家族と利用者の関係を最大限、尊重し家族にも意見を聞きながら家族と共に利用者の支援をすすめていく | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 20 | 8 | ○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 時間を制約しない訪問や電話の取次ぎ、一緒に外出が出来ることにより交流が途切れないように努めている | | |
| 21 | | ○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員が間に入ることにより利用者間の会話が弾むよう支援している。定期的に書道、コーラス、太極拳、歌体操など、ほぼ全員の利用者で楽しんで頂いている。仲の良い利用者も多く、お互い相手を気遣っておられる | | |
| 22 | | ○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 家族様に自宅で使用されていた身の回りの品物（思い出の詰まった）を頂いたり、話をお聞きして日頃の会話に取り入れ利用者に思い出等をして頂いている | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○ 思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 一人、一人の目線に合わせてながら希望、意向の把握に努めている。飴好きな人や本好きの利用者には一緒に買いに行き喜んで頂いている | | |
| 24 | | ○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人、家族に機会があるごとに確認したり意思表示の困難な利用者は職員が日々、接する中で把握してきようになっている。掃除好きの利用者には、その人の、やり方で、あまり、できない利用者には職員が支援しながら、やって頂いている | | |
| 25 | | ○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている | 食事以外の時間は、自室やリビングで自由に過ごされている。また、掃除や体操、散歩等の際には、声掛けし出来るだけ参加して頂けるようにしているが本人の意思を尊重し強制はしない。自室に、こもりがちな利用者にはリビングまで声掛けし気分転換して頂いている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○ チームでつくる介護計画とモニタリング | 安楽に暮して頂けるように家族様や必要な関係者と連携を取り介護計画を作成している。 | | |
| | | 本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | | | |
| 27 | | ○ 個別の記録と実践への反映 | 日々、どのような事でも記録し情報を共有し介護計画の見直しをしている。 | | |
| | | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている | | | |
| 28 | | ○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 併設のクリニックと連携し、適時医療面でのサポートは行なっている。また歯科受診についても訪問歯科に来て頂いている | | |
| | | 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる | | | |
| 29 | | ○ 地域資源との協働 | 地域の色々な行事にできるだけ参加、ふれあいを頂いている | | |
| | | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | | | |
| 30 | 11 | ○ かかりつけ医の受診診断 | 入居時に、かかりつけ医の確認を行い医療機関への変更を希望される場合、往診、通院の援助を行う | | |
| | | 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | | | |
| 31 | | ○ 介護職員との協働 | 法人内の診療所の医師や看護師に相談、また薬局の薬剤師とも連携を取っている | | |
| | | 介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32 | | ○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 入院の際には利用者様の身体状況や服薬内容の照会をしたり、入院中面会に行き担当医師とカンファレンスを行う等している | | |
| 33 | 12 | ○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化した場合などは家族や医療機関と十分な話し合いを行ない方針を共有し、施設の出来る範囲でチームケアを行なっていきたい | | |
| 34 | | ○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時の対応については併設の医療機関と連携し対応できている。また、職員にも急変者の初期対応について周知できている | | |
| 35 | 13 | ○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている | 消防署員の指導のもと避難訓練を行っている。組合員の協力体制も整っており緊急時の対応に備え、今後も定期的に訓練を行っていきたい | | |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている | 人格やプライバシーには気をつけているが職員のペースでの対応が多く見られることがある。会議の場などで話し合い職員一同、徹底していききたい | | |
| 37 | | ○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援 日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者には声掛けなどにより買い物等、外出に同行したり散歩するなどの対応をしている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している | 外出を希望される方は、その都度、外出対応する。各自、事由に自室で過ごして頂く | | |
| | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している | 毎月の訪問理容での散髪と、家族との外出により行きつけの店に行き散髪されている利用者もある | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の盛り付け、配膳等職員と一緒にしている | | |
| | | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個人の摂取記録を確認し水分量の少ない利用者に対しては好きな飲み物を促し、摂取して頂いている。咀嚼機能が低下している利用者に対しては食べやすいように刻み食で対応している | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の歯磨きを声掛けや誘導により行って頂く。入れ歯の方は入れ歯洗浄液を入れ職員が預かっている | | |
| | | ○排泄の自立支援 排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄表を見ながら時間の間隔を確認し誘導する | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 腸の働きが良くなるように廊下の往復やラジオ体操などを実施している。排泄記録をチェックし時期を見て便秘薬を配薬し対応している | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 週3回程度、入浴の機会を作り入浴の準備や入る順番等、入居者様に合わせ支援しています | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 各個人のこれまでの生活習慣や体調に合わせて休息したり、安眠できるよう支援しています | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている | 各個人の薬のファイル等利用して、目的や副作用を理解しており症状の変化にも対応できるよう日々、努めています | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個人、一人、一人の役割や楽しみを持続できるよう支援しています | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 本人の希望により外出したい時は職員と一緒にスーパーなど買い物に出掛けている。季節の行事である初詣、お祭り、外食等、家族と一緒に楽しんでいる | | |
| 50 | | ○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している | 本人が管理できる場合は所持されて、買い物時には本人が払っている。管理が出来ない場合は施設が管理し買い物時には、本人が支払えるように支援している | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している | 事務所の電話で常に連絡できるように支援していますし、携帯電話を所持している利用者も、いらっしゃいます。葉書等貼り絵された物を年賀状や暑中見舞いとして出せるように支援しています | | |
| 52 | 19 | ○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている | 季節を感じて貰えるよう作り物や花などを飾り、居心地よく過ごせるように工夫しています | | |
| 53 | | ○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | フロアにソファを置いて利用者同士、話をしたりテレビを見たりして過ごしておられます。 | | |
| 54 | 20 | ○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのもを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている | 家族様に相談して入居時に自宅で利用していたなじみの家具等やベッドなど持ってきて頂けるようにしています | | |
| 55 | | ○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 自立支援に向けて自分で出来ることはしてもらい寄り添う介護、見守り等に努めています +B28 | | |

| V アウトカム項目 | | |
|-----------|---|---|
| 56 | 職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある | <input type="radio"/> ① 毎日ある <input type="radio"/> ② 数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③ たまにある <input type="radio"/> ④ ほとんどない |
| 58 | 利用者は一人ひとりのペースで暮らしている | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとし た表情や姿がみられている | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい る | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごさせている | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、 求めていることをよく聞いており、信頼関係が できている | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者と <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 64 | 通いの場やグループホームに、馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている | <input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業 所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くない |
| 66 | 職員は生き生きと働けている | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスに、おおむね 満足していると思う | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスに、 おおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族が <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |